

## 第1章

# MDGsの達成状況

2000年代に入ってからこの10年間、国際社会においてMDGs（ミレニアム開発目標）は開発分野の羅針盤としての役割を果たしてきました。MDGs達成に向けた国際社会の取組はある程度の成果を上げてきましたが、2015年までにすべての国・地域ですべての目標を達成するために、国際社会の一層の努力が求められています。

国連は2005年以降、年に一度、MDGs達成に向けた進捗状況報告書をまとめています。2010年6月に発行された報告書によると、MDGs達成に向けた進捗状況は一様でなく、分野や地域によってばらつきが見られることが分かります。

いくつかの分野では、2015年までに目標が達成される見通しが立っています。たとえば、極度の貧困の半減については、開発途上地域全体で見れば目標が達成される見通しです。背景には、開発途上地域の経済成長がおおむね堅調であること、特に1990年時点で世界の貧困人口の約6割を抱えていた中国とインドが目覚ましい発展を遂げていることがあります。安全な飲料水のない人口の半減についても、主に農村で改良された飲料水源の普及が進んだ結果、目標が達成される見通しです。

このような進捗は見られるものの、2015年までの目標達成は難しいと見られる分野もあります。進捗が遅れているとされるのが、MDGsの8つの目標のうち3つを占める保健分野です。MDGsの目標4「乳幼児死亡率の削減」のターゲットである5歳未満児の死亡率は、1990年の出生1,000人当たり100人から、2008年には出生1,000人当たり72人へ28%低下しました。一方で、2015年までに1990年の水準の3分の1に削減するという目標の達成は厳しい状況です。目標5「妊産婦の健康の改善」のターゲットの1つである妊産婦死亡率については、最新のデータによれば、1990年の出生10万人当たり400人から、2008年には出生10万人当たり260人へ34%低下したと推計されています(注1)。ある程度は進捗があったといえますが、それでも2015年までに妊産婦の死亡率を1990年の水準の4分の1に削減するという目標の達成には一層の努力が必要です。目標6「HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延の防止」については、国際社会の努力により比較的成果が出ているものの、支援の継続や拡大が必要な状況です。保健と大きく関連する衛生分野についても、改良された衛生施設を利用できる人口の割合はあまり伸びていません。

注1 出典：世界保健機関(WHO)、国連児童基金(UNICEF)、国連人口基金(UNFPA)および世界銀行“Trends in Maternal Mortality:1990 to 2008” (2010年9月)

また、教育分野については、最貧国における就学率は改善されているものの、いまだに7,200万人の子どもが就学していません。本来は2005年までの達成を目指していた初等教育および中等教育における男女格差の解消についても、格差は縮小傾向にあるものの、2010年現在目標を達成できていません。

地域ごとに見ると、東アジアなどが比較的順調にMDGs達成に向け前進しているのに対し、サブ・サハラ・アフリカおよび南アジアは地域全体として厳しい状況にあります。ま

た、同じ地域内や1つの国の中でも格差が存在しています。

MDGsの達成に向けた進捗には、開発途上国自身の政策や国際社会の支援だけでなく、世界経済の動きも大きく関係しています。2007年から2008年にかけて見られた食料・エネルギー価格の高騰や2008年からの世界金融・経済危機などは、開発途上国の食料供給や雇用に大きな影響を及ぼしました。気候変動に伴う様々な変化や、自然災害などの緊急事態もMDGs達成に向けた進捗を鈍化させる要因です。

## Keyword

### 1

## ミレニアム開発目標(MDGs)

### ～その目的とこれまでの経緯～

MDGs(Millennium Development Goals)が設定された契機は、2000年9月にニューヨークで開催された国連のミレニアム・サミットです。この会議には147か国の国家元首を含む189か国の代表が参加し、21世紀の国際社会の目標として「国連ミレニアム宣言」を採択しました。国連ミレニアム宣言は、「平和と安全」「開発と貧困撲滅」「環境」「人権とグッド・ガバナンス(良い統治)」「アフリカの特別なニーズ」などを課題として挙げ、21世紀の国連が果たすべき役割の方向性を示しました。

この国連ミレニアム宣言と、1990年代に開催された主要な国際会議で採択されてきた国際開発目標を統合し、1つの共通の枠組みとしてまとめたものがMDGsです。MDGsは、「極

度の貧困と飢餓の撲滅」「普遍的初等教育の達成」「乳幼児死亡率の削減」「妊産婦の健康の改善」「環境の持続可能性確保」など、2015年までに達成すべき8つの目標(ゴール)を掲げており、これらの目標の下には、より具体的なターゲットと達成状況を測定するための指標が設定されています。

国際社会は、様々な機会にMDGsの重要性を確認し、目標達成に向けた努力を強化してきました。

2005年には、国連ミレニアム宣言のフォローアップのために、国連首脳会合が行われ、MDGsの達成に向けて全世界がさらなる努力を重ねることが確認されました。また、2015年までの中間年に当たる2008年には、国連でMDGsに関するハイレ

ベル会合が開催され、特に重要とされる「貧困と飢餓」「教育と保健」「環境の持続可能性」という3つの分野についての分科会が開催されました。そして、目標達成期限まで残すところ5年となった2010年には、第2章の第1節で紹介しているとおり、世界各国の首脳や閣僚の集まる様々な会合が行われ、MDGs達成に向けたこれまでの成果と課題、今後の具体的なアプローチについての議論が行われました。

このように世界中の国々や様々な主体が、MDGsという国際社会共通の目標の下、今後の世界がどうあるべきか、そしてそれぞれの国が果たすべき責任とはどのようなものであるかについて議論を交わし、行動を起こしているのです。

図表 I-1

ミレニアム開発目標 (MDGs) の達成状況 (国連「MDGs 2010 進ちょく図表」等から)

目 標	ターゲット ( )内は指標	開発途上国全体		北アフリカ	サブ・サハラ・ アフリカ
		暦年	達成状況グラフ		
 <b>目標1</b> 極度の貧困と飢餓の撲滅	1. 極度の貧困半減 (1日約1ドル以下で生活する人口の割合 [%])	1990 1999 2005	45.7 33.0 26.6	4.5 4.4 2.6	57.5 58.3 50.9
	2. 生産的かつ適切な雇用 (労働年齢人口に占める就業者の割合 [%])	1991 2000 2009	64.2 62.9 61.7	43.9 43.4 46.0	63.5 64.1 64.9
	3. 極度の飢餓半減 (カロリー消費が必要最小限のレベル未満の人口の割合 [%])	1990-92 2000-02 2005-07	20 16 16	5未満 5未満 5未満	31 30 26
 <b>目標2</b> 普遍的初等教育の達成	4. 初等教育の完全普及 (初等教育における純就学率 [%])	1991 2000 2008	79.9 82.6 88.8	80.2 88.0 94.4	53.4 60.3 76.4
 <b>目標3</b> ジェンダーの平等推進と 女性の地位向上	5. 初等教育における女性の就学率 (初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 [%])	1991 2000 2008	0.87 0.91 0.96	0.82 0.91 0.94	0.84 0.85 0.91
	6. 女性賃金労働者の割合 (非農業部門における女性賃金労働者の割合 [%])	1990 2000 2005 2008	31.2 33.8 34.7 35.5	19.3 19.0 18.7 19.2	23.5 28.2 30.5 32.4
	7. 国会における女性議員の割合 (女性国会議員の割合 [%]) ※2010年1月31日現在	1990 2000 2005 2010	10.4 10.8 13.9 17.6	2.6 2.1 5.4 9.0	7.2 9.1 14.2 18.4
 <b>目標4</b> 乳幼児死亡率の削減	8. 5歳未満児死亡率を3分の1に削減 (5歳未満児1,000人当たりの死者数 [人])	1990 2000 2008	100 86 72	80 46 29	184 166 144
 <b>目標5</b> 妊産婦の健康の改善	9. 妊産婦死亡率を4分の1に削減 (妊産婦10万人当たりの死者数 [人])	1990 2005	480 450	250 160	920 900
	10. リプロダクティブ・ヘルスへのアクセス (産前のケアの機会 [%]) ※少なくとも1度産前ケアを受けた 15~49歳の女性を対象)	1990 2008	64 80	46 78	67 76
 <b>目標6</b> HIV/エイズ、マラリア、 その他の疾病の まん延の防止	11. HIV/エイズまん延防止 (15~24歳のHIV感染者の割合 [%])	1990 2002 2008	0.3 0.9 0.8	0.1未満 0.1未満 0.1	1.9 5.3 4.7
	12. 結核まん延防止 (10万人当たりの新規結核感染者数 [人]) ※HIV感染者を含む)	1990 2000 2008	150 160 160	59 48 43	180 320 350
 <b>目標7</b> 環境の持続可能性確保	13. 森林破壊防止 (森林面積の割合 [%])	1990 2000 2010	30.8 29.5 28.8	1.4 1.4 1.4	31.2 29.5 28.1
	14. 安全飲料水のない人口半減 (浄化された水源を継続して利用できる人口の割合 [%])	1990 2008	71 84	86 92	49 60
	15. 衛生設備のない人口半減 (適切な衛生設備を利用できる人口の割合 [%])	1990 2008	41 52	72 89	28 31
	16. スラム居住者の生活改善 (スラムに居住する都市人口の割合 [%])	1990 2000 2010	46.1 39.3 32.7	34.4 20.3 13.3	70.0 65.0 61.7
 <b>目標8</b> 開発のためのグローバルな パートナーシップの推進	17. インターネット利用者 (100人当たりのインターネット利用者数 [人])	1995 2000 2008	0.1 2.0 15.1	0.1未満 0.7 19.1	0.1 0.5 6.0

\*1 上記のMDGsの8つのロゴは「(特活)ほっとけない世界のまずしさ」が作成したもの。

\*2 統計データの詳細については、国連の公式サイト Millennium Development Goals Indicatorsを参照(<http://unstats.un.org/unsd/mdg/>)。

- ① 目標達成済み、または、達成間近。      ② 現状が続けば2015年までに目標達成が見込まれる。      ③ 現状のままでは2015年には目標達成不可能。      ④ 進展なし、または、悪化。      — データが不十分。

東アジア	東南アジア	南アジア	西アジア	オセアニア	ラテンアメリカ・カリブ	独立国家共同体の欧州	独立国家共同体のアジア
60.1 35.6 15.9	39.2 35.3 18.9	49.5 42.2 38.6	2.2 4.1 5.8	—	11.3 10.9 8.2	1.6 3.0 0.3	6.3 22.3 19.2
74.5 73.1 69.8	68.0 66.5 65.6	57.6 56.0 55.4	48.6 46.4 44.3	65.5 66.3 66.8	56.3 57.9 60.0	58.0 53.6 56.1	57.4 55.7 59.3
18 10 10	24 17 14	21 20 21	5 8 7	—	12 10 9	5未満 5未満 5未満	16 17 9
97.5 94.4 96.0	94.0 93.6 94.7	75.3 80.0 89.7	82.1 83.3 88.0	—	85.8 94.1 94.9	92.5 86.8 93.0	85.9 95.2 94.0
0.92 1.02 1.04	0.97 0.97 0.97	0.76 0.83 0.96	0.87 0.88 0.92	0.90 0.90 0.89	0.98 0.97 0.97	1.00 0.99 1.00	0.99 0.99 0.98
38.1 39.6 40.6 41.2	35.5 37.3 37.1 38.1	13.2 17.2 18.0 19.2	16.5 18.8 19.5 20.1	33.3 35.6 35.1 36.0	36.3 40.3 41.4 42.4	49.6 51.2 52.1 51.8	44.3 44.7 45.5 45.2
20.2 19.9 19.4 19.5	10.4 9.7 15.5 19.3	5.7 6.7 8.8 18.2	4.6 4.7 5.0 9.4	1.2 3.4 3.0 2.5	11.9 14.8 19.0 22.7	7.5 10.5 14.2	7.1 9.9 15.1
45 36 21	73 50 38	121 97 74	66 44 32	76 66 60	52 33 23	26 23 14	78 62 39
95 50	450 300	620 490	190 160	550 430	180 130	58 51	
80 91	72 93	48 70	53 79	—	79 94	—	90 96
0.1未満 0.1 0.1	0.2 0.3 0.4	0.1未満 0.3 0.2	0.1未満 0.1 0.1	0.1未満 0.6 0.9	0.3 0.6 0.6	0.1 0.8 1.0	0.1未満 0.1 0.2
120 110 100	240 230 220	170 170 170	58 48 34	200 190 190	90 61 46	91 110 100	120 130 140
16.4 18.0 20.5	56.9 51.3 49.3	14.1 14.1 14.5	2.8 3.0 3.4	67.5 65.1 62.5	52.0 49.6 47.4	48.0 48.1 48.1	3.9 3.9 3.9
69 89	72 86	75 87	86 90	51 50	85 93	94 96	88 88
43 56	46 69	25 36	80 85	55 53	69 80	89 89	91 91
43.7 37.4 28.2	49.5 39.6 31.0	57.2 45.8 35.0	22.5 20.6 24.6	24.1 24.1 24.1	33.7 29.2 23.5	—	—
0.1 3.6 24.6	0.1 2.4 13.9	0.1未満 0.5 5.8	0.1 4.0 23.8	0.1未満 1.8 6.0	0.1 3.9 28.8	0.1 1.7 27.0	0.1未満 0.5 12.3